昭和52年
1月1日号
第131号
発行所　津奈木町役場
編集総務課
印刷所　旭印刷所

町報 つなぎ

あけまして おめでとうございます

誕生 おめでとうございます

番号	部落	父親氏名	児名	続柄	生年月日
1	谷下木	広秋米吉	宏志	長男	50. 12. 29
2	〃	速久清豊	二子	二男	51. 1. 10
3	国奈津	主孝	水貴	二男	1. 1. 13
4	平小	尊	則伸	長男	1. 1. 19
5	〃	雄正満	喜一	長男	1. 1. 20
6	古川日大	伸和	恵織	二女	1. 1. 25
7	〃	照記	宏史	二男	1. 1. 27
8	〃	功久	香妙	長男	1. 1. 29
9	小倉古	悟保	敏正	三男	1. 1. 31
10	中古平	一已	初里	長男	2. 3 4
11	大浜	洋三	香あ	長女	2. 4 6
12	桜大釜	平三	和久	二男	2. 4 21
13	平上平	生代	貫	長男	2. 5 22
14	新浜新	崇夫	智真	長女	2. 5 1
15	大浜	市立	照麻	二女	2. 6 2
16	伊浜塩	浦豊	奄美	二男	2. 6 3
17	林福三	人之	貴一	長男	2. 6 4
18	浜西坂	泰任	大正	長男	2. 6 5
19	浜真鶴	幸志	史香	二男	2. 6 6
20	村福宮	昭一	妙敏	二男	2. 6 7
21	竹福松	忠国	正初	長男	2. 6 8
22	大浜吉	泰秀	里香	二女	2. 6 9
23	浜諫太	幸志	あ和	二男	2. 6 10
24	釜平新	茂紀	貫	二男	2. 6 11
25	浜伊塩	昭一	智雅	二男	2. 6 12
26	林福三	忠国	博太	長男	2. 6 13
27	浜西坂	泰秀	貴幸	二男	2. 6 14
28	浜真鶴	幸志	誠伸	長男	2. 6 15
29	村福宮	昭一	淳紀	二男	2. 6 16
30	竹福松	忠国	こゆみ	二女	2. 6 17
31	大浜吉	泰秀	健宏	二男	2. 6 18
32	浜諫太	幸志	拓佳	長男	2. 6 19
33	釜平新	茂紀	美	長女	2. 6 20
34	浜伊塩	昭一	貴千	二女	2. 6 21
35	林福三	忠国	美覚	二女	2. 6 22
36	浜西坂	泰秀	加康	二男	2. 6 23
37	浜真鶴	幸志	智浩	長男	2. 6 24
38	村福宮	昭一	裕厚	二男	2. 6 25
39	竹福松	忠国	隆	長男	2. 6 26
40	大浜吉	泰秀	美	二女	2. 6 27
41	浜諫太	幸志	紗	二女	2. 6 28
42	釜平新	茂紀	士	長男	2. 6 29
43	浜伊塩	昭一	一	長男	2. 6 30
44	林福三	忠国	千	二男	2. 7 1
45	浜西坂	泰秀	静	二女	2. 7 2
46	浜真鶴	幸志	由	二女	2. 7 3
47	村福宮	昭一	一	二男	2. 7 4
48	竹福松	忠国	ずかゆ	長男	2. 7 5
49	大浜吉	泰秀	千	二女	2. 7 6
50	浜諫太	幸志	静	二女	2. 7 7
51	釜平新	茂紀	由	二男	2. 7 8
52	浜伊塩	昭一	一	二男	2. 7 9
53	林福三	忠国	ずかゆ	長男	2. 7 10
54	浜西坂	泰秀	千	二女	2. 7 11
55	浜真鶴	幸志	静	二女	2. 7 12
56	村福宮	昭一	由	二男	2. 7 13
57	竹福松	忠国	一	二男	2. 7 14
58	大浜吉	泰秀	ずかゆ	長男	2. 7 15
59	浜諫太	幸志	千	二女	2. 7 16
60	釜平新	茂紀	静	二女	2. 7 17
61	浜伊塩	昭一	由	二男	2. 7 18
62	林福三	忠国	一	二男	2. 7 19
63	浜西坂	泰秀	ずかゆ	長男	2. 7 20
64	浜真鶴	幸志	千	二女	2. 7 21
65	村福宮	昭一	静	二女	2. 7 22
66	竹福松	忠国	由	二男	2. 7 23
67	大浜吉	泰秀	一	二男	2. 7 24
68	浜諫太	幸志	ずかゆ	長男	2. 7 25
69	釜平新	茂紀	千	二女	2. 7 26
70	浜伊塩	昭一	静	二女	2. 7 27
71	林福三	忠国	由	二男	2. 7 28
72	浜西坂	泰秀	一	二男	2. 7 29
73	浜真鶴	幸志	ずかゆ	長男	2. 7 30
74	村福宮	昭一	千	二女	2. 7 31
75	竹福松	忠国	静	二女	2. 8 1
76	大浜吉	泰秀	由	二男	2. 8 2

（S51年12月20日届出者までの方）

松の緑を

町長　六車孝吉

昨年大字津奈木の分収林が町で買い上げて純町林が二八二町歩となった。

私の幼い頃津奈木の山林は三千町歩と聞かされていた。最近これが約二千二百町歩になっている。皆って全国に盛名を馳せた芦北松の美林が姿を消して、その大部分に檜が植え付けられ一部は甘夏柑が栽培されている。海岸から遠く離れた芦北町の一部に、黒松より抵抗力の強い赤松林が残っているが、航空防除により小康を保っているけれども次第に松噬虫の被害が拡がりつつある。もっと抜本的な方法の開発が望まれる。密植・粗放栽培、短期伐採により高い経済効果をあげていた芦北松の人工造林、その再現は私の夢に終るかも知れない。我々の祖先が代々伝えてきた松栽培法を記録に残す時が来たのではあるまいか。苗の植え付け間隔は一踏ん張りで、殆んど一回六百本植えて漸く一人前と言われた。伐採時に直幹で生育旺盛な木を立松と称して残し、これから種子を採ったので種松と呼ばれた。幾百年も風波に耐えた海岸の松、松と共に、山々に曾えていた立松の風容を思い出しては残念な場合もない。近年杉の植林についても気になることが多い。本杉と呼ばれた優秀な在来種が殊んぜられて雑多な種類の杉が何等の統一もなく植えられている。我が郷土に適した優良品種の育成を意って、手軽に他国の品種を導入し、手入もが、航空防除により小康を保っているけれども次第に松噬虫の被害

新年にあたり町有林の育成を語られる六車町長

「老人憩いの場」建設工事着工

（大明神前）

本町では、かねて老友会の要望の強かった老人憩いの場を織川緑蔭官の御協力を得て、津奈木向蚕神社前の休憩田を埋立て、建設することとなり、去る七日入札を実施、坂口建設の手で工事が着工された。

老人憩いの場は、ゲートボールコート二面と、簡易でバレーボールコート一面と、それに休憩室として三十三平方メートル（約十坪）の木造平屋建（骨十帖敷一室外）を建築する。

事業費は約六百二十七万円で内五百九十八万五千円は、工業再配置促進費補助金である。

ちなみに、本町の老齢人口比率は約十五％で全国平均の七、九％の約二倍に近い。尚今後も増加の見込みで、老人対策は本町の重要な課題であるが、幸い前記補助金を得て、要望の強い老人憩いの場を建設して、老人の健康増進と生がい対策の一つとし、且つ、婦人のバレーコートにも兼用して、老齢層と婦人層の親ぼくの場としても利用を図めたい考えである。

来年二月末が竣工期限で、コート開きが待たれている。

寄附御礼

津奈木町漁業組合（組合長　川崎一幸氏）は、「水俣病に伴う水銀汚染の利子補給その他、町の援助に対し心より感謝申しげます。」と、組合長以下役員全員が役場においでになり

一金五百萬円也

を現金で御寄附くださいました。町財政窮迫の折柄、有難く頂戴致しまして町民福祉のため有効に活用致したいと思います。

歳末助け合い募金御礼

町民皆様方の深いご理解と温かいご協力により多大の募金を頂き有難うございました。

お袋を持ちまして、施設に入所している人、並びに入院患者又は町内のねたきり老人や重度の障害者の方々にお見舞い申し上げましたので御報告致します。

尚決算報告は二月一日号で致します。

選挙管理委員決る

昭和五十一年十二月の第四回定例議会において、任期満了に伴う選挙管理委員及び同補充員の選挙を行なった結果、左記の方が当選されました。

なお、現在まで委員として永年お務めの戴きました岡松壮氏に対し厚くお礼申しあげます。

記

選挙管理委員
福田　信順　　竹永　脩人
永松　登弥　　田村　正
補充員
千々嶺子　　財部　留夫
野田　補子　　尾上　登

人権擁護委員も決る

人権擁護委員に町中の松本チホ氏が選ばれました。

なお、前任者の山下一郎氏に対し、厚くお礼申しあげます。

募集

◎幼稚園児募集

昭和五十二年度幼稚園児を次のとおり募集しております。希望者は申込んでください。

一、募集人員　一二〇名
二、入園資格　五才児（昭和四十六年四月二日から、昭和四十七年四月一日までの出生児）
四才児（昭和四十七年四月二日から、昭和四十八年四月一日までの出生児）
三、入園手続　希望者は、津奈木町教育委員会に「入園申請書」をお出しください。（用紙は教育委員会にあります）
四、受付期間　昭和五十二年一月十七日から二月五日まで。（土曜日は正午まで。日曜日は受付けません）
五、入園の許可　入園を許可する人には、二月末日までに、教育委員会から通知します。
六、経費　入園料　二〇〇〇円（入園時一回限り）
授業料　一五〇〇円（予定）
毎月十日まで納入
七、入園日　昭和五十二年四月九日（予定）
八、休園日　国の祝日、日曜日、夏休み、冬休み、春休み等すべて小学校と同じです。
九、備考　申し込み数が定員を超えた場合は、四才児について抽せんします。
尚保育時間は八時三十分から十三時三十分までとなっていますが、家庭の都合でどうしても十七時まで預ってほしいと希望される方は、申し出てください。善処いたします。

◎保育園児募集

昭和五十二年度保育園児の募集を次のとおり行います。児童の入園を希望の方は民生委員に申し出てください。

一、申込期間　昭和五十二年一月十日～一月三十一日
二、手続き方法　入園申請書に諸事項を記入し地区民生委員へ提出して下さい。
※申請書用紙は、両保育園、民生委員宅、役場にあります。
民生委員は次の方々です。
（カッコ内は担当地区名）
田上二智子（下代）福田信順（塩竹中）
財部留夫（町中）小島陸（小津浜）
西　滋子（大泊）成田子之吉（桜崎）
平松昭子（古中尾）鳥居トシ（中尾）
竹本カヨ子（浜）倉谷　吉野セエ（日添）
森山シゾエ（日当）平野シエ（立国下）
福山ツルエ（福浦）

⊙消防組合職員募集

昭和五十二年四月一日発足の、水俣芦北消防組合では、消防職員を募集します。
採用予定人員は、十四名です。
（応募条件）
◎芦北郡内在住者又は、郡内居住者の子弟
◎年令　昭和五十二年四月一日現在で、満十八才（高校卒業見込者を含む）以上、二十三才迄の男子（採用予定約十名）
◎身長一六五センチメートル以上体重五十五キログラム以上胸囲身長のおおむね1/2以上
視力、聴力正常なもの
その他、消防職員として不適格な急性症等を有しないこと等の条件があります。
◎試験は「筆記試験」
国語、数学、理科、社会、一般常識、作文（高校卒程度）
「体力試験」
立巾とび、けんすい、投てき、百メートル、四百メートル
「二次試験」
面接試験、身体検査があります
願書受付期間（予定）
昭和五十一年一月四日より昭和五十一年一月二十日まで
試験期日（予定）
一次試験
昭和五十二年二月二日、三日
試験場所（予定）
芦北町　芦北総合庁舎会議室
芦北町　芦北総合庁舎グラウンド
この試験に合格し採用された者は、地方公務員法の適用を受ける条件付採用として、熊本県消防学校に六ケ月間入校し、卒業後正式採用となり、水俣本署、芦北分署、田浦、津奈木各駐在所のいずれかに勤務することとなります。
町内でくわしく知りたい方は役場総務課へお問い合せ下さい。

農業青色申告説明会

農業青色申告の記載要領等につきまして、説明会を開催しますので関係者は是非御出席下さい。
記
日時　昭和五十二年一月十一日　午后一時
場所　津奈木町中央公民館和室
講師　八代税務署　米上席調査官

年末の特別警戒

恒例の年末特別警戒を、津奈木町消防団が行います。年末のあわただしい折しかも寒さ厳しさのなか御苦労ですが、各家庭の防火防犯に対する心構えは、怠りありません。
電気ストーブ・石油ストーブ等の後始末は忘れていませんか。ガスの元栓は、忘れずに締めましょう。タバコの投げ捨て寝タバコは、止めましょう。又お出かけまえには火の元、戸締りを、もう一度点検しましょう。
誰もが小さな火にも大きな注意をとその手の場で火のまつ

年末年始のゴミ収集は致しません

今年は十二月二十八日までで、ゴミ収集を終ります。来年は一月四日から集収を始めます。従って十二月二十九日から三日までゴミ集収を休みますので、其の間は各々自家処理するか、自宅に保管しておいて下さい。そこで、十二月二十八日と一月四日は可燃物は勿論木燃物、粗大ゴミとも集収いたしますから、次のことに特に御注意下さい。
◎原則として一ケ所一回しか回りませんので必ずその日の朝八時半までにゴミを出して下さい。
（当日は三台の車で廻りますからいつもの集収時間と異りますので特に御協力下さい）
◎千拓地のゴミ捨場は施錠でありますので、個人では捨てられませんから御注意下さい。

成人式

昭和五十二年、成人式が次のとおり開催されます。
成人式の対象者は、昭和三十一年四月二日より昭和三十二年四月二日まで生れた方で、本町に本人か保護者が在住されておられる方は出席できますので、案内状がとなくても出席してください。
記
期日　昭和五十二年一月四日
会場　津奈木町公民館
受付　午前八時半より九時まで
注意事項
(1) 町内巡回のため時間厳守してください。
(2) 服装は動きやすい普段着のままで出席ください。特に体育館では上履きをご用意ください。
詳しいことは、教育委員会（電話三一二一）までおたずねください。

成人の日は国民年金加入の日

成人式おめでとうございます。
わが国では、二十歳になると、成人として多くの権利が認められるようになります。国民年金に加入することもその一つです。
若い人にとって、年金の話は、遠い老後のことと考えられるかも知れません。しかし、老後の年金はもちろん、永い人生にはいろいろの出来事があります。アイカー運転で重傷を負ったとき、一家の働き手が死んだとき、いとしい子が孤児となったときなど、国民年金から障害年金、母子年金、遺児年金、寡婦年金と、いろいろな年金が支給されます。
こう考えると、国民年金へ加入するのは、あなたの生涯安全計画のパスポートを手に入れることです。
国民年金への加入手続は、印鑑をもち、津奈木町役場国民年金係に出向いて、必要な事柄を記入するだけで終ります。二十歳のあなたの将来のため、この加入手続きを早く済ませましょう。

竹中チーム優勝

町内第一回アートボール大会は去る十二月十二日、二十一チームが参加して、津奈木中学校を庭で行われ、熱戦の末、竹中チームが、強豪上門男子チームをやぶり初優勝、二位上下門男子チーム三位小津奈木チーム、四位上下門壮年男子Aチームでした。
特に今大会に上下門部落は七チーム出場と部落民総出で協力していただき心からお礼申し上げます。

税の相談はお気軽に

今年もまた、贈与税や所得税の申告時期が近づきました。
毎年、この時期になりますと、「贈与税の計算はどのようにするのだろうか」とか「土地を売ったが、税金は、どのように計算するのだろうか」など、税金についての質問や相談が多くなります。
そのようなときは、最寄りの税務署又は税務相談室にお尋ねください。担当の職員や、知識、経験の豊富な相談官が御相談に応じています。お気軽にどうぞ！

還付申告は早目に

税得税の確定申告と納税は、二月十六日から三月十五日までです。サラリーマンの方など確定申告をしなくてもよい方でも、災害を受けたり、多額の医療費を支払った方などは、確定申告書を提出すれば雑損控除や医療費控除をすることによって、税金が返ってくる場合があります。
この還付を受けるための確定申告は、二月十六日より前でも受付けています。早く申告すれば、税金の還付も早く受けられます。早めに済ませてください。

御芳志御礼

部落　世帯主　故人
染竹　鶴野　晃　円七
大泊　新立　正　トメ
平上　野崎　恵彦　恵八
平上　野崎テツ子　印
平上　浜田　長義　スエコ
以上の方々から町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封ご寄附下さいました。この寄附金は町民福祉のため有効に利用させていただきます。誠にありがとうございました。謹んでお礼申しあげますとともに故人のご冥福を心からお祈り申しあげます。

酒を飲んでいる家族や来客に車を運転させないようにしよう

なお、一月五日は休みですから一月六日から平常どおり集収することになります。

交通事故巡回相談

交通事故巡回相談所が次のとおり開設されますので、交通事故でお困りの方は、この機会にお気軽に御利用ください。
なお、相談には交通事故証明書、医師の診断書、その他関係資料をなるべく御持参ください。
記
日時　一月十九日　十時三十分～十六時
場所　芦北総合庁舎（県事務所）

役場業務

年末年始の役場業務は、十二月二十八日から一月四日まで致しません。
なお、出生届、婚姻届、死亡届等の戸籍関係の諸届出については年末年始でも受付けます。

お知らせ

最低賃金改正

熊本県木材、木製品、家具、装備品製造業最低賃金は、日額一〇〇円に父業、十石製品製造業最低賃金は三〇〇円、清掃または片付けの業務に従事する者は一〇〇円に改正され、十二月三十日より効力が発生します。
このため使用者は最低賃金額以上の賃金を支払わなければなりません。
詳しくは〇九六三一二一五三一へお問い合せ下さい。

水俣病認定申請者（死者）の病理解剖について

年末年始の病理解剖については次のように通知がありましたのでよろしくお願いします。
(一)解剖可能期間
一月一日から一月三日まで
(二)解剖不能期間
一月四日
(三)解剖開始日
一月四日
(四)解剖は死後十四時間（冬期）までが検索可能であるので速かに役場へ連絡すること。
(五)遺体は直ちに氷で全身を冷し、特に頭部と腹部を重点に冷すこと。

電報電話料金が変りました

このたび、公衆電気通信法等の一部が改正され、11月17日から電報電話の料金や利用制度が改正されました。
主な改正点は、次のとおりです。
一、電話基本料
単独電話、構内交換電話の基本料は11月17日から一加入電話ごとに、住宅用一四〇〇円、事務用二〇〇〇円となりました。但し昭和52年3月31日までは住宅用一〇五〇円、事務用一五〇〇円です。
二、ダイヤル通話料
12月6日から一度数7円が10円になりました。
この改定により区域内のダイヤル通話料は、三分間7円が三分間10円になりました。
三、一〇〇番扱い通話料
一〇〇番扱い通話料は、11月17日からダイヤル通話料に準じて改定されました。
四、電報料
通常電報料は11月17日から二五字まで三〇〇円、追加五字までごと四〇円となりました。
※水俣3局の〇〇〇〇番をダイヤルしてみませんか!!
現在、お子様向けの無料テレホンサービスを提供しています。
電話のかけかた、エチケットなどを、なぞおさみ、木ノ寒ナナのおしゃべりで楽しく聞くことができます。
毎月1日と15日の二回テープを入れ替えております。
（水俣電報電話局）